2024年度　下期

2026年4月29日

みやぎ生協　福祉活動助成金　助成活動報告書

団体名	森の寺子屋	
代表者名	舘柳　智美	
連絡先 TEL：090-1496-2217 FAX：なし		E-mail：mika.moritera@gmail.com

1、助成事業報告

助成を受けた事業名	大地の再生 in 森の寺子屋
事業の目的	自然と人間の共存を意識した自然の手入れの仕方を知り、自然を生かした環境再生法を実践しながら学ぶ。
事業の具体的内容	田んぼや畑が広がる森の寺子屋のフィールドで、大地の空気と水の通り道を再生する手入れの仕方や、風と光を通す草刈りと選定の仕方など、自然に寄り添った環境再生の手法を実践的に学ぶ。
活動の開始から完了までの流れ	①竹炭ワークショップ（今回は3回実施しました。） 竹林の伐採→枝葉を落とす→無煙炭化器で燃やす ②大地の再生ワークショップ 講師をお招きして、２日間開催。自然に寄り添った環境再生の手法を実践的に学んだ。 ③大地の再生メンテナンス会 フィールド内の点検。空気と水の通り道を再生する手入れの仕方、風と光を通す草刈りと選定の仕方を参加者のみんなで確認。竹炭の補充。
活動の成果と教訓	本事業では、交付いただいた助成金により「無煙炭化器」を導入いたしました。これを活用し、放置された竹林の伐採から竹炭作り、そしてその炭をフィールドの土壌改良に活かすという、自然の循環に寄り添った環境再生ワークショップを開催いたしました。 具体的な成果として、以下の２点が挙げられます。

	・私たちが大切にしている「除草剤に頼らず、自然の力を引き出す手入れ」の考え方をお伝えする貴重な機会となりました。持続可能な景観管理への共感を広げる第一歩を踏み出すことができましたと思います。 ・長年手つかずだった竹林の一部を整備したことで、景観が改善され、地域住民の方々から「手つかずだったところがすっきりして嬉しい。」と喜んでいただくことができました。 教訓として挙げられることは、今回の活動を通じ、単発のイベント開催だけでは、地域内での広範な「横のつながり」を強固にするまでには至らなかったという点です。 一過性の取り組みで終わらせるのではなく、「毎年、春先にはこの活動がある」という地域の恒例行事として定着させていく必要性を強く感じております。今後は、継続的な開催を通じて参加者同士の交流を深めていくことを少しずつ取り組みたいと思いました。
今後の展望など	1. 恒例行事としての定着と関わる人の拡大 今回のワークショップには、地域外から延べ30名もの方々にご参加いただきました。「自宅でも実践したい」という意欲的な声に応えるためにも、本活動を毎年恒例イベントとして継続開催していきたいと思いました。繰り返し開催することで、一度きりの交流に留まらない、地域を応援してくれる人の層を厚くしていきます。 2. 地域課題の解決と「横のつながり」の強化 地域住民の方々から寄せられた「竹の繁茂への悩み」に対し、無煙炭化器を活用した整備は非常に有効な解決策であることを確信いたしました。今後は、この活動を起点として、地元の農家さんや住民の方々とさらに連携を深めていきたいと思います。

2、助成金使途報告書

■　収入の部

確保した資金内容	金額（円）	備考
福祉活動助成金	100,000 円	
自己資金	800 円	
合計	100,800 円	

■　支出の部

費目	内容	予算額（円）	実支出額
備品	無煙炭化器	100,000 円	100,800 円
合計		100,000 円	100,800 円

＊用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

３、送付必要書類

1　福祉活動助成金　助成活動報告書
　プリントアウトしたものを 1 部郵送、データもメールでお送りください。
2　領収書のコピー（郵送）
3　成果物（活動の様子がわかる写真、または事業で作成したもの）
　＊写真は 2，3 枚報告書と一緒にデータにてお送りください。
　　その際、お子さんの画像は公開可のものをお送りください。







